

LAPSS

**地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム
(Local Action Plan Supporting System)**

操作勉強会（中級編）

**2024年 8月
株式会社 野村総合研究所**

本勉強会に関する注意事項

- 本日はLAPSSの操作勉強会（中級編）にご参加いただきありがとうございます。勉強会に先立ち事前に以下の注意事項をご確認ください。
- 本勉強会の資料は、参加登録いただいたご担当者様宛にお送りしたメールにて事前共有しております。必要に応じてお手元のPCにも資料をご用意の上、ご参加ください。
- また、事務局の説明に合わせて、お手元でLAPSSを操作していただくことで理解が深まるかと存じます。ご用意できる方は是非LAPSSを操作いただける状態でご参加いただけますと幸いです。
- なお、本勉強会の内容は後日環境省HPにて動画での配信を予定しております。適宜ご活用ください。

https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/shien4.html

- 本勉強会の最後に、参加者の皆様からのご質問をお受けする質疑応答の時間を設けております。ご質問がある場合は、配信画面内にある「Q&A」欄に質問内容を入力の上、送信してください。お寄せいただいたご質問の中から、事務局より適宜ご回答いたします。なお、当日の進行状況等の理由により、すべてのご質問にはお答えできない可能性がございますので、予めご了承ください。お答えできなかったご質問については、後日LAPSS掲示板にてご回答させていただきます。なお、**本日の質疑応答の内容については、後日環境省HPにて掲載いたします**。適宜ご活用ください。

本勉強会の趣旨説明

- 環境省では、地方公共団体実行計画（事務事業編・区域施策編）の策定、温室効果ガス総排出量の算定・管理の支援等を目的とした『**地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム「LAPSS（ラップス）」**』を開発しています。
- LAPSSは、地方公共団体の職員の皆様のご負担（地方公共団体実行計画の策定、進捗管理の効率化等）を軽減していくことを目的としております。
本勉強会では、
 - 既にLAPSSの利用登録をいただいている地方公共団体の職員の皆様におかれましては、LAPSS のさらなる積極的な利用・活用促進を図っていただく
 - 新たにご登録いただいた地方公共団体の職員の皆様におかれましては、今後の利用・活用に活かしていただくために、LAPSSの機能のうち、より多くの団体にご活用いただいている機能や本格利用後にご活用いただきたい機能について、ご説明させていただきます。
- 本勉強会の最後には質疑・応答の時間も設けておりますので、LAPSSを使用している中でのお悩みやご要望等をお寄せいただけますと幸いです。
- なお本勉強会は、環境省大臣官房地域脱炭素政策調整担当参事官室から調査を受託している野村総合研究所が実施いたします。

本勉強会の位置付け

- 本勉強会では、既にLAPSSをご利用いただいている地方公共団体の職員の皆様のうち、LAPSSを使いこなしたいという方々を対象に、**より発展的なLAPSSの機能のご紹介**をさせていただきます。
- 7月に開催した、基本的な機能のご説明に特化した「操作勉強会（初級編）」とあわせて、**ステップを踏んでLAPSSの使い方をマスター**していただけます。

新規利用団体向け説明会
【6月開催済】

操作勉強会（初級編）
【7月開催済】

操作勉強会（中級編）
【8月開催】

- LAPSSの利用をご予定・ご検討いただいている地方公共団体の職員の皆様を対象に、LAPSS利用のメリットや主要な機能、利用事例のご紹介、LAPSS導入までの流れについてご説明いたします。
- 既にLAPSSを利用いただいている地方公共団体の職員の皆様のうち、LAPSSの機能を最低限把握しておきたいという方々を対象に、本格利用後にご活用いただきたい LAPSSの基本的な機能の紹介・操作デモを行います。
- 既にLAPSSを利用いただいている地方公共団体の職員の皆様のうち、LAPSSを使いこなしたいという方々を対象に、**より発展的な LAPSSの機能の紹介・操作デモ**を行います。

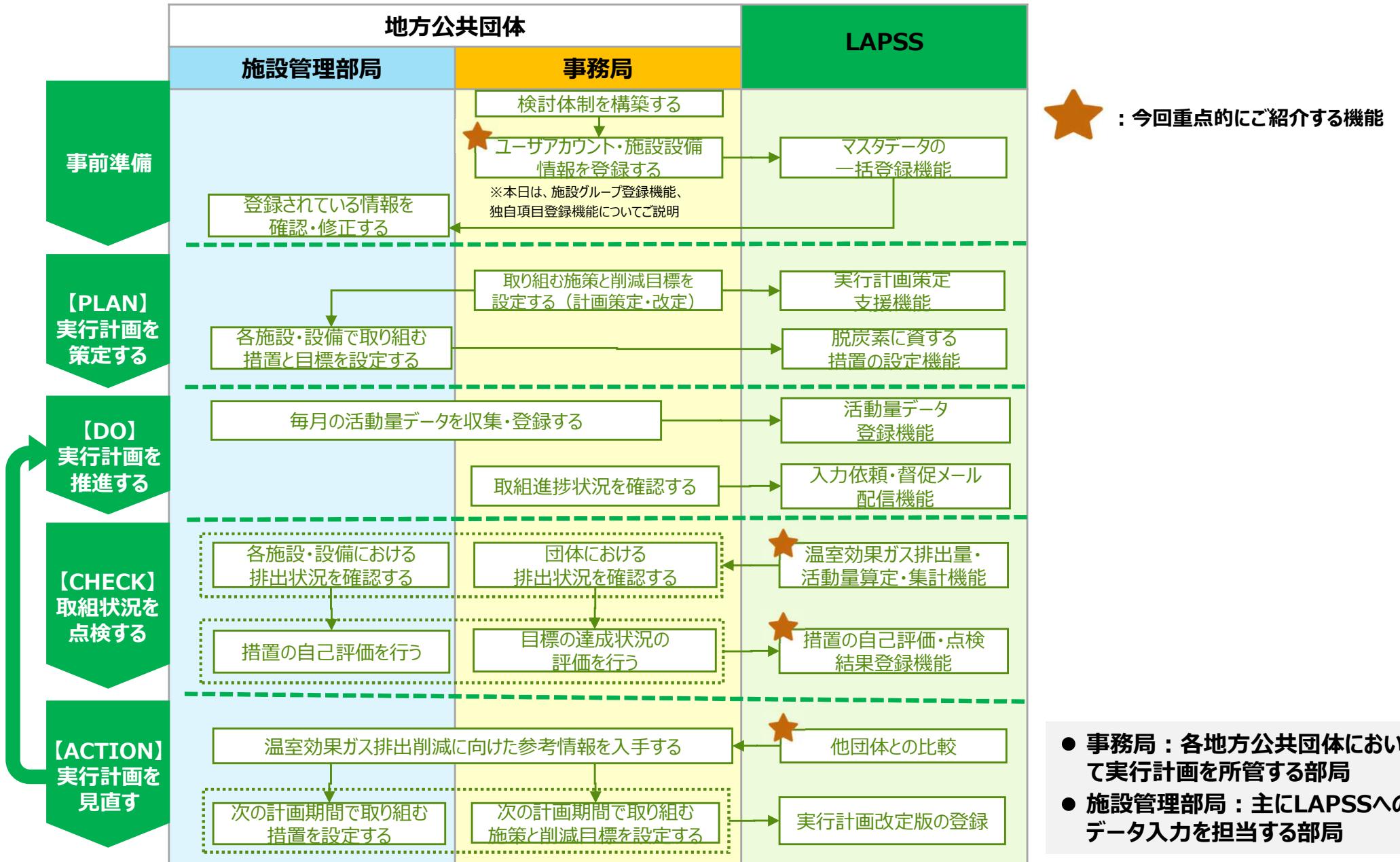
アジェンダ

1. 地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム (LAPSS) 機能のご紹介	P. 6 ~ P. 25
■ 実行計画（事務事業編）に係る機能	P. 7 ~ P. 19
■ 実行計画（区域施策編）に係る機能	P. 20 ~ P. 25
2. 地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム (LAPSS) の簡易操作説明	P. 26 ~ P. 28
3. 質疑応答	

LAPSS

地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム (LAPSS) 機能のご紹介

実行計画（事務事業編）の策定・運用に係る業務とLAPSS機能



LAPSSの機能一覧（事務事業編）※2024年8月時点



：今回重点的にご説明する機能

マスタデータの一括登録機能

- ✓ 部局/課室/施設情報や施設の過去活動量データを専用Excelツール(VBA)を使用して一括登録

実行計画策定支援機能

- ✓ 策定に資する情報をフォーマットに沿って入力
- ✓ 登録された情報は帳票として出力して活用も可能

脱炭素に資する措置の設定機能

- ✓ 脱炭素に資する措置を、施設・設備ごとに設定
→措置分類、削減目標、導入費用等を管理

活動量データ登録機能

- ✓ 施設・設備の活動項目について、施設管理者が毎月の活動量データ（実績値）を登録
※マスタデータ同様、実績値の一括登録も可能

他団体比較機能

- ✓ 他団体と削減量(原単位の対前年度比)を比較し、削減効果の高い団体の措置を参照可能

排出量・活動量算定・集計機能

- ✓ 排出量・活動量の推移・内訳について条件を組み合わせた集計が可能
- ✓ 施設・設備の排出量データを帳票として出力して活用も可能
- ✓ 省エネ法等の関連法制度の温室効果ガス総排出量の算定が可能
- ✓ 団体内の部局/課室/施設別の排出量および昨年度からの削減率を一覧表示し、比較することが可能

措置の自己評価・点検結果登録機能

- ✓ 各施設・設備の措置について、当年度の取組状況を点検し、自己評価を実施

入力依頼・督促メール配信機能

- ✓ 活動量データの入力依頼メールや督促メールを自動配信

掲示板閲覧・投稿機能

- ✓ 他団体の事務局との情報交換を目的とした団体間共通掲示板や、団体内の情報共有を目的とした団体内掲示板機能を利用可能

4. 【DO】活動量データの登録機能

事務局

施設管理部局

◆ 活動量データの管理における課題



報告された活動量データの管理や精査に手間がかかる

施設管理者が施設毎の活動量データをブラウザから入力することが可能です。

異常値（桁間違い等）を自動でチェックする機能もあるので、誤入力を防止します。

* 活動量データの一括登録機能もありますので、施設の活動量データを一括で登録することも可能です（専用Excelツール(VBA)を利用）

管理等支援システム

月別実績値 入力

年度 2020 対象施設名 test ログアウト

入力対象月を選択します。 入力期間 5 月 選択

<注意>前月値（前年度値）と比較し、大幅な増減がある場合は、「コメント」欄の入力が必要です。内容を確認し、コメント欄に増減の理由を記入してください。

項目分類	項目名	単位	前年度値	当年度値	金額 (円)	コメント	当年度値	金額 (円)
燃料の使用（液体燃料）	ガソリン（揮発油）	L	-				-	
燃料の使用（液体燃料）	:ガソリン 自動車での使用	L	-				-	
燃料の使用（液体燃料）	:ガソリン 自動車以外での使用	L	-				-	
合計の使用量								
燃料の使用（気体燃料）	:液化石油ガス (LPG) ディーゼル一括燃焼器	L	-				-	

入力対象月の活動量を「当年度値」の欄に入力してください。

一時保存 確定

入力を内容を一時保存する場合は「一時保存」ボタンをクリックして下さい。

入力を終える場合は、「確定」ボタンをクリックして下さい。

New!

★ 4. 【DO】活動量データの登録機能

事務局

施設管理部局

2024年3月より、活動量データの登録機能において、**団体独自の活動項目と排出係数を設定の上、活動量データの登録が可能**になりました。

独自項目 登録

対象制度の独自項目、排出係数を登録します。
本画面で独自項目を登録後、他制度の間連制度別排出係数設定画面を開くと、本画面で登録した独自項目の行に「当制度へ登録」ボタンが表示されます。押下することで他制度の排出係数を登録することができます。

必須な項目を入力してください。

独自項目分類	燃料の使用（固体燃料）
独自項目名称 必須	独自項目名称を入力
単位 必須	単位名称を選択
集計分類 必須	集計分類を選択
表示順 必須	表示順を入力 (整数を入力 ※入力例:10)
総数項目フラグ 任意	<input type="checkbox"/>
対象制度	地方公共団体実行計画（事務事業編）（基礎排出係数）
年度	2024
排出係数 CO2(tCO2)	<input type="text"/>
CH4(tCO2)	<input type="text"/>
N2O(tCO2)	<input type="text"/>
HFC(tCO2)	<input type="text"/>
PFC(tCO2)	<input type="text"/>
SF6(tCO2)	<input type="text"/>

[一覧に戻る](#) [登録](#)

自団体の独自項目の名称や活動量の単位、排出係数等を登録することで、当該項目について活動量データを登録可能

5. 【DO】入力依頼・督促メール配信機能

事務局

◆ 活動量データの収集における課題



施設管理者からの活動量データの収集業務に手間がかかる
(入力依頼、督促など)

期限までに入力されていない施設管理部局に対して**入力依頼メール**や**督促メール**を自動配信することができます。

実施依頼メール 設定

通知 **必須** ON OFF

入力対象月 **必須** 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

入力期間 **必須** 翌月 日 ~ 日

送信頻度 **必須** 期限日以降 日間隔

件名（依頼） **必須** 実績入力のお願い【依頼】

本文（依頼） **必須** ○○市 地域づくり課 各位
前月の実績入力をお願いします。

件名（督促） **必須** 実績入力のお願い【再送】

本文（督促） **必須** ○○市 地域づくり課 各位
前月の実績入力時期を過ぎておりますのでご対応をお願いします。

登録

施設毎の活動量データが期限までに入力されていない施設管理部局に対して、**入力依頼・督促メールが自動で配信**されるため、**管理業務の工数の削減**が可能。

6. 【CHECK】排出量算定・集計機能

事務局

施設管理部局

◆ 排出量の算定・集計における課題



- 温室効果ガス排出量の算定・集計に手間がかかる
- 電気事業者等の排出係数が毎年変わるため、管理が手間

条件（集計範囲、温室効果ガスの種類、集計方法）を組み合わせた集計・出力が可能であり、**排出量の推移・内訳を見える化**することができます。

排出係数は**LAPSSが標準装備**しており、**更新作業は不要（LAPSS側で自動更新）**です。

基礎排出係数のほか、温対法・省エネ法等各種報告に必要な調整後排出係数もご利用いただけます。



排出量の推移、内訳（構成比率）を
グラフ表示し、分析を容易に行うことができ、
集計に掛かる工数を大幅に削減できます。

排出量の算定に必要な**排出係数**は
LAPSSが標準装備しています。
毎年の排出係数の更新は必要ありません。

6. 【CHECK】排出量算定・集計機能

事務局

団体内の部局/課室/施設別の排出量および昨年度からの削減率を一覧表示し、比較することも可能です。
団体内における温室効果ガス削減取組の進捗比較にご活用いただけます。

団体内 施設別 年間削減量比較

集計年度 2021 年度
 温室効果ガス 総排出量 (t-CO₂)
 集計方法 施設分類別
 大分類 スポーツ・レクリエーション系施設
 中分類 観光・レクリエーション施設

「施設別の集計比較（同様に部局別、課室別も可能）」

前年度比削減率が大きい順での表示

「措置・点検」ボタンをクリックすると、施設ごとに取り組んでいる措置情報と点検情報を表示する「措置点検結果の入力」画面へと遷移

このデータでダウンロード

原単位分母

施設名	部局名	課室	総排出量 (t-CO ₂)	延べ床面積 (m ²)	概算値	原単位 (t-CO ₂ /m ²)	原単位の対前年度比 (%)	措置・点検
海洋館	建設部	港湾課	8,442,868.211	1,660.11	-	5,085.72818	15,417,441.01	措置・点検
展望塔	建設部	港湾課	8,121,112.403	2,344	-	3,464.6384	23,552,636.16	措置・点検
中央センター	建設部	港湾課	7,155,844.981	1,502.2	-	4,763.57674	62,356,006.491	措置・点検
海洋公園	建設部	港湾課	8,764,624.018	300	-	29,215.41339	123,405,414.924	措置・点検
防波堤	建設部	港湾課	9,086,379.826	300	-	30,287.93275	172,107,509.58	措置・点検
国際キャンプ場	産業部	農政課	7,477,600.788	339.48	-	22,026.63128	176,394,037.581	措置・点検
交流広場	産業部	農政課	7,799,356.596	599.56	-	13,008.4672	211,359,865.949	措置・点検

New!

★ 6. 【CHECK】排出量算定・集計機能

事務局

2024年3月より、排出量算定・集計機能において、**部局/課室/施設別**だけでなく、**任意の施設グループを設定することで、施設グループ別に集計することが可能**になりました。

施設グループの設定

集計

施設グループ登録

必須な項目を入力してください。

施設グループ名称 **必須** 施設グループ名称を入力
備考 **任意** 備考を入力

活動量や温室効果ガス排出量を任意のグループごとに集計したい場合、**施設グループを登録**

登録

施設情報 変更・削除

必須な項目を入力してください。

施設名 **必須** 施設名0430
施設分類（大分類）**必須** 供給処理施設
施設分類（中分類）**必須** 廃棄物処理施設

施設管理課室 **必須** デジタル局 LAPSS課 **変更**
関連施設管理課室 **任意** 部局を選択 課室を選択 関連施設管理課室を追加

施設グループ **任意** **施設グループを選択**

施設ごとに登録した**施設グループを設定**

排出量データ 集計（年度別）

対象制度 地方公共団体実行計画（事務事業編）（基礎排出係数）
実行計画 第5期地球温暖化対策実行計画
温室効果ガス 総排出量 CO2 CH4 N2O HFC PFC SF6
集計方法 施設分類別 担当部局別 項目分類別 施設グループ別
分類 Aグループ
集計

集計方法を「施設グループ別」に設定することで、**グループごとの集計結果を表示可能**

New!

6. 【CHECK】排出量算定・集計機能

事務局

2024年3月より、排出量算定・集計機能において、**温室効果ガス排出量のみならず活動量データについても、集計・グラフ表示・帳票出力が可能**になりました。

活動量データ 集計（月次）

対象制度：地方公共団体実行計画【事務事業編】（基礎排出係数）

集計年度：2020 年度

集計範囲：①全施設 ②自部局が管理する施設のみ ③自部局が関連する複数施設も含む ④施設グループ

施設グループ分類：5項目選択中

集計項目：ガソリン 単位：L

※集計項目の選択肢には、集計可能な項目（※）のみ表示されます。
※集計される活動項目の単位が全て揃っている項目
システムで管理している集計項目は[こちら](#)を参照

温室効果ガス：①総排出量 ○ CO₂ ○ CH₄ ○ N₂O ○ HFC ○ PFC ○ SF₆

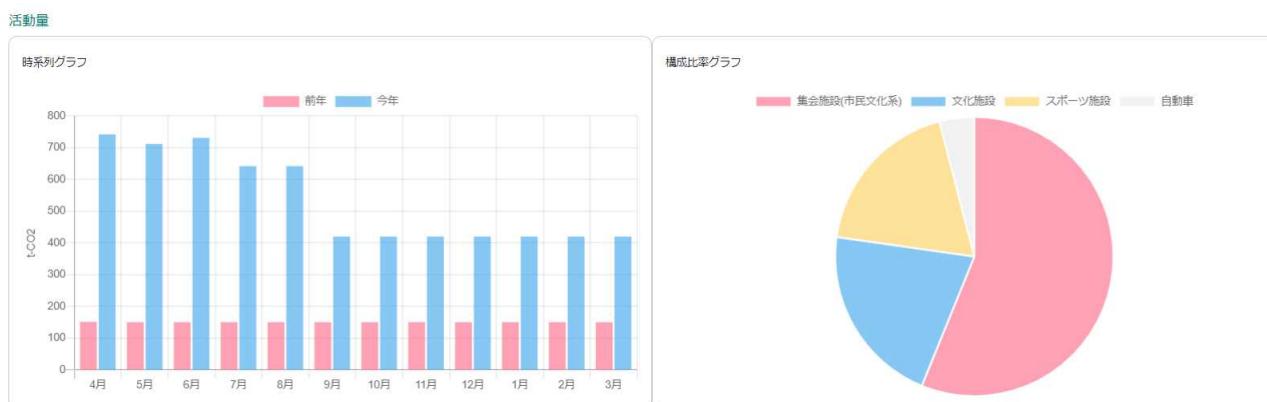
集計方法：①施設分類別 ○ 担当部局別 ○ 施設グループ別

施設グループ分類：5項目選択中

集計

(活動量と排出量の集計仕様は[こちら](#)を参照)

集計条件（対象制度、集計年度、集計範囲、集計方法等）を設定



活動量の時系列グラフや構成比率グラフを表示

★ 7. 【CHECK】関連制度報告に向けた排出量算定機能

事務局

◆ 関連制度の排出量算定における課題



省エネ法・温対法など、関連する法制度の温室効果ガス算定に係る作業負荷が大きい

省エネ法・温対法報告などに応じた排出量の算定が可能です。

関連制度別排出量算定

対象制度 必須 地方公共団体実行計画（事務事業編）

対象年度 必須 2018 年度

温室効果ガス 必須 ◉ 総排出量 CO₂ CH₄ N₂O HFC PFC SF₆ NF₃

表示

このデータをCSVでダウンロード

温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)													
施設分類(大分類)	施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市民文化系施設	○○区民ホール	252	246.4	242.48	245.56	248.64	279.72	282.8	283.08	283.36	282.8	-	-
社会教育系施設	○○境未来館	943.6	909.13	912.26	909.68	952.88	924.06	904.39	938.32	999.75	-	-	8,474.07

「事務事業編」のほか、「省エネ法」、「温対法(算定・報告・公表制度)」等を指定可能です。

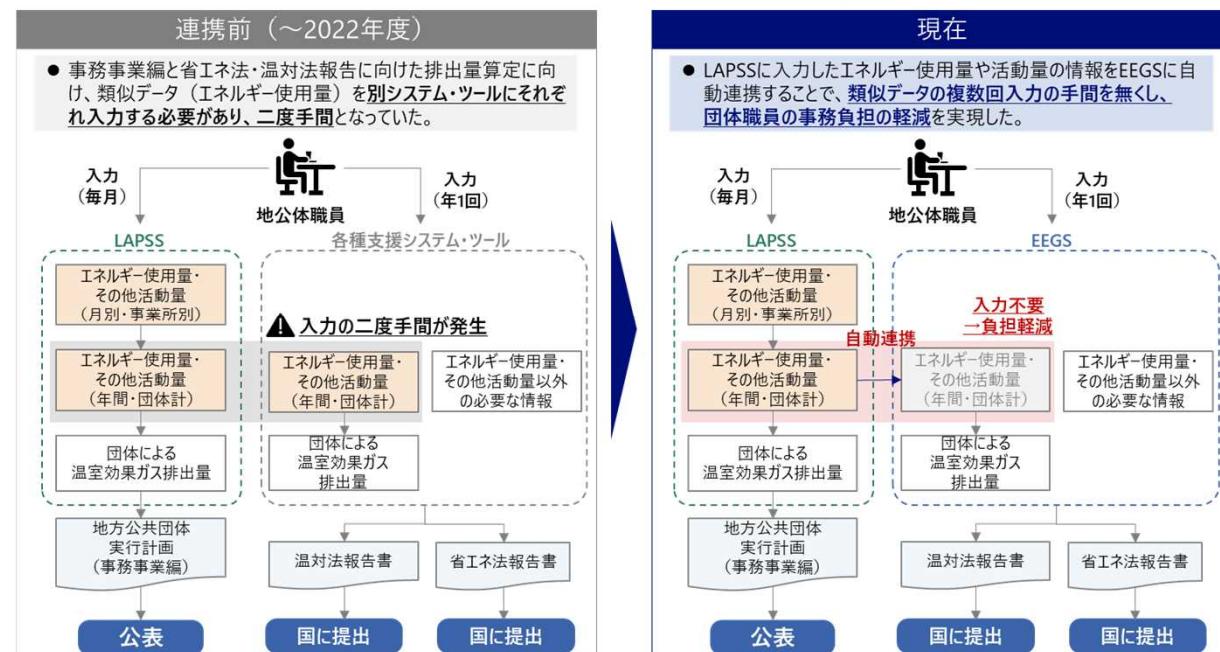
関連制度で必要となる温室効果ガス排出量を算定できます。
これにより類似する法制度の排出量算定の工数が大幅に削減できます。

★ 7. 【CHECK】関連制度報告に向けた排出量算定機能

2023年5月より、**省エネ法・温対法・フロン法の同時報告、及び、温室効果ガス排出に関する情報の統合管理を可能とする新システム「省エネ法・温対法・フロン法電子報告システム（EEGS）」**に、**LAPSSとのデータ連携機能が搭載**されています。（※EEGS側での操作となり、LAPSS側での操作は不要）

地方公共団体が省エネ法・温対法の報告を行う場合は、LAPSSに入力したエネルギー使用量や活動量の情報をEEGSにて取り込みの操作を行い連携することで、類似データの重複入力を避け、団体職員の報告に係る事務負担を軽減できます。

LAPSSとEEGSの連携イメージ



★ 8. 【CHECK】措置の自己評価・点検結果登録機能

事務局

施設管理部局

◆ 措置の自己評価・点検における課題



温室効果ガス削減措置を設定しているものの、評価や点検の管理が
できていない

実行計画策定時に設定した各施設設備の措置についても、活動量・排出量の管理と同様に、**年度ごとに取組状況の点検と自己評価**を入力・管理することができます。

措置点検結果の入力

各措置の点検（確認と見直し）を行い、点検完了コメントを入力して登録してください。

No.	措置分類	措置	自己評価
1	温室効果ガスの排出の削減等に資する設備の選択 空調設備・換気設備	エネルギー消費効率の高いモーターへの更新	4 <input type="button" value="▼"/> <input type="button" value="編集"/>

総合評価 **必須** [記入例](#)

全体のうち80%のモーターを、エネルギー消費効率の高いモーターへ更新。

点検完了日 **必須**

部局 **必須** ●●部

課室 **必須** ▲▲局

点検実施者 **必須** 飯田三郎

点検完了

措置ごとの自己評価と、総合評価を
入力し、管理することができます。

★ 9. 【CHECK】他団体比較機能

事務局

施設管理部局

- ◆ 排出量削減措置の立案における課題



他団体で実施されている有効な措置の事例を参考にしたい

他団体と削減量(原単位の対前年度比)を比較し、**削減効果の高い団体の措置を参照**することができます。

集計年度 2018 年度

比較対象団体 都道府県 47 項目選択中
団体区分 10 項目選択中

さらに団体を絞り込む

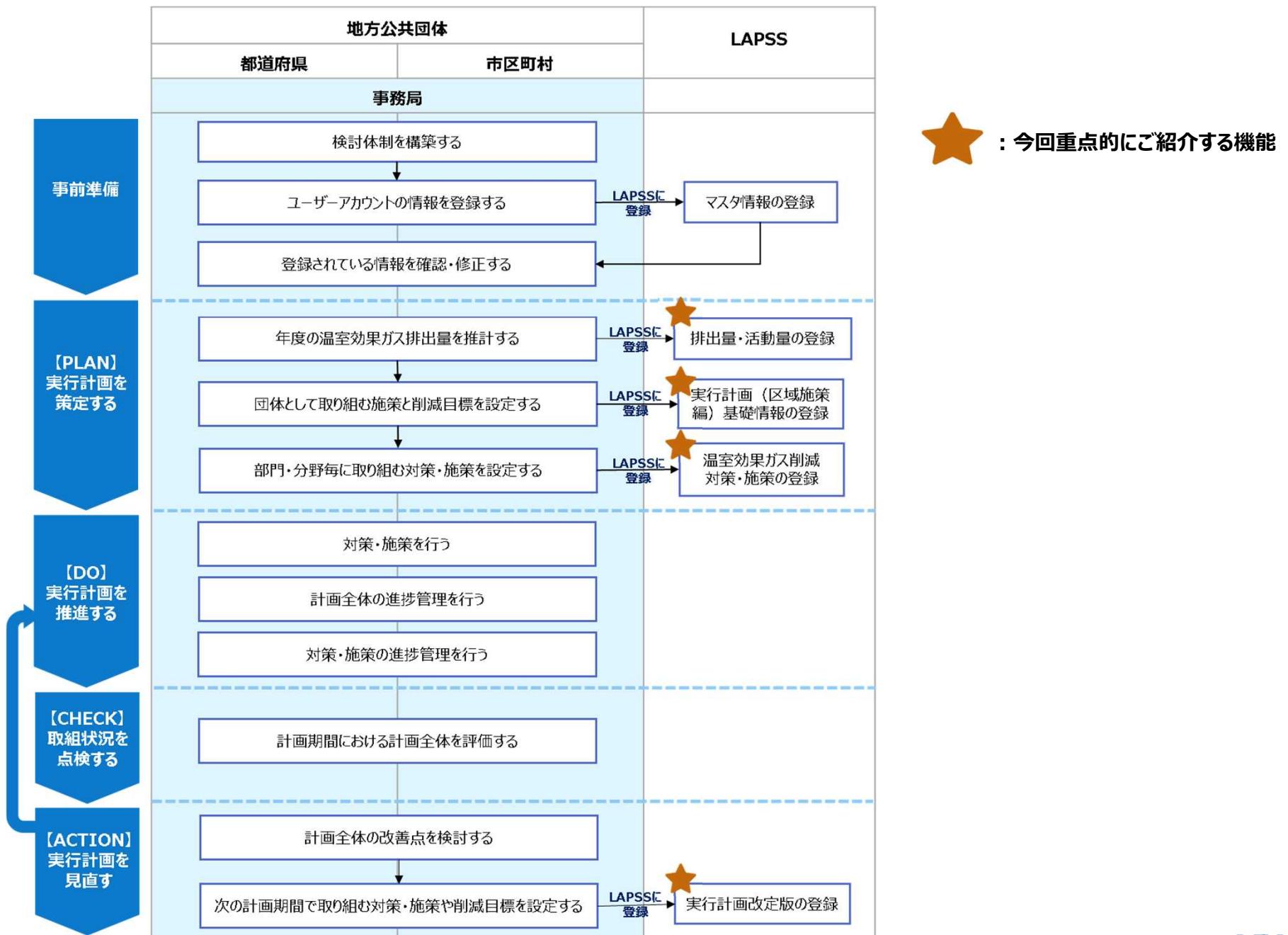
比較対象とする他団体を、**都道府県及び団体区分で指定**することができます。
特定の団体を指定することもできます。

温室効果ガス 総排出量 CO2 CH4 N2O HFC PFC SF6 NF3

大分類	中分類	自団体		他団体					
		原単位 (t-CO2/m2)	原単位の対前年度比 (%)	原単位 (t-CO2/m2)	原単位の対前年度比 (%)	平均	ばらつき	標準偏差	平均
市民文化系施設	集会施設	0.0188	82.986	0.0303	0.01	0.021	92.79408	75.405	8.6

他団体の**削減状況**（原単位における前年度比）と比較し、**他団体の取組を参照**することができます。
これにより、**自団体の取組の振り返りや措置の立案に活用**できます。

実行計画（区域施策編）の策定・運用に係る業務とLAPSS機能





- ◆ LAPSSは、地方公共団体実行計画（事務事業編）における温室効果ガス総排出量の算定・管理の支援等を主な目的としていますが、令和5年度から区域施策編にも対応しました。

実行計画策定
支援機能

- ✓ 策定に資する情報をフォーマットに沿って入力
- ✓ 登録された情報は帳票として出力して活用

地域脱炭素化促進事
業に関する事項

- ✓ 促進事業の目標、促進区域の類型・ゾーニング情報、再エネ活用のため促進区域において整備する施設、地域の脱炭素化のための取組等の設定・管理

温室効果ガス削減に
向けた対策・施策の
設定支援機能

- ✓ 温室効果ガス削減に向けた対策・施策の設定のための参考情報を提供
- ✓ 設定した対策・施策の管理も可能

排出量・活動量データ
管理・集計機能

- ✓ 年度単位、部門・分野ごとの排出量データ（推計値）や吸収量を登録し管理
- ✓ 排出量の推移・内訳を自動集計しグラフ化



1. 実行計画策定支援機能

事務局

- ◆ 地方公共団体実行計画（区域施策編）の策定における課題



職員不足により、実行計画の策定に関する業務に十分な時間を割くことができない/業務負荷軽減のために計画の雛型が欲しい

実行計画基礎情報登録機能を活用すれば、フォーマットに沿って入力するだけで実行計画に関する**情報が登録可能**です。登録された情報は**帳票として出力**することもできます。

管理等支援システム 団体名:システム管理用 下水道部 下水道課 テストユーザ事務局 ログアウト

実行計画（区域施策編）基礎情報 登録

入力内容が不明な場合はこちら

基本情報

必須な項目を入力してください。

実行計画名 **必須** 実行計画名を入力

策定・改定年 **必須** 年を選択 年 月を選択 月

計画期間 **必須** 年を選択 年 月を選択 月 ~ 年を選択 年 月を選択 月

最終改定年度 **任意** 例) 2017 年度 (西暦)

基準年度 **必須** 例) 2017 年度 (西暦)

基準年度温室効果ガス排出量 **必須** 例) 1000 t-CO₂

目標年度 **必須** 例) 2017 年度 (西暦)

目標年度温室効果ガス排出量 **必須** 例) 1000 t-CO₂

一覧に戻る

（上記の各項目が必須項目で、赤枠で囲まれています。）

計画名称、計画期間、基準/目標年度、目標年度温室効果ガス排出量等を登録することができます。

（この部分が、右側の「（2）区域の特徴」欄にリンクされています。）

フォーマットに沿って必要事項を入力した後、登録内容は帳票出力することができるため、実行計画の策定に係る負担を軽減できます。

そのまま公表いただける形で
帳票出力可能です。

（2）区域の特徴

以下に示す〇〇町の自然的・社会的条件を踏まえ、区域施策編に位置づけるべき施策の整理を行います。また、他の関係行政施策との整合を図りながら、地球温暖化対策に取り組むこととします。（以下は自然的・社会的条件の例示）

ア 地域の概要
〇〇町は、（地域の成り立ち、位置、面積など）となっています。

イ 気候概況
〇〇町周辺の気候は、xx（山間部、海沿い、平野部など土地条件を踏まえた特色等（日照時間、降雪量、寒暖差など）を記載）であり、また、長期間の気象観測データがある〇〇気象観測所の年平均気温の推移をみると、～という傾向が現れています。

ウ 人口と世帯数
〇〇町の人口は、国勢調査によると〇〇傾向にあり、xx年xx月xx日時点の人口はxx人、世帯数はxx世帯、年齢別ではxxのような特徴がみられます。

エ 地域の産業の動向
〇〇町の就業人口からわかるように、基幹産業は〇〇業であり産業別付加価値額としてもxx円、のことからも〇〇業が〇〇町の経済全体に及ぼす影響が大きいことが分かります。

（この部分が、左側の「（2）区域の特徴」欄にリンクされています。）

（3）計画期間

〇〇実行計画（区域施策編）の基準年度、目標年度、計画期間について、2013年度を基準年度とし、2030年度を目標年度とします。また、計画期間は、策定期間である2022年度の翌年である2023年度からの8年間とします。



2. 地域脱炭素化促進事業に関する事項

事務局

◆ 地域脱炭素化促進事業の管理における課題



情報管理が一元化されておらず、引き継ぎがうまくいかない

地域脱炭素化促進事業の促進に関する事項等を**登録・管理可能**です。

地域脱炭素化促進事業の促進に関する事項（市区町村）登録

必須な項目を入力してください。

地域脱炭素化促進事業の目標 **任意** ?

促進区域（大分類） **必須** ?

地域脱炭素化促進施設の種類（中分類） **必須** ?

地域脱炭素化促進施設の規模（小分類） **必須** ?

促進区域（詳細情報） **任意** ?

促進区域（地図） **任意** ?

地域の脱炭素化のための取組 **任意** ?

地域の環境の保全のための取組 **任意** ?

登録

地域脱炭素化促進施設の目標、促進区域、
地域脱炭素化促進施設の種類などの各情報を
登録できます。



3. 温室効果ガス削減に向けた対策・施策の設定支援機能

事務局

◆ 温室効果ガス削減に向けた対策・施策の設定における課題



温室効果ガスの排出削減のために取り組む対策について管理できていない

団体で実施している温室効果ガス削減に向けた**対策・施策を、部門・分野ごとに設定**することができます。部門・分野ごとに**主要な対策・施策リストがあらかじめLAPSSに登録**されているため、今後の対策・施策の検討に活用いただくことも可能です。

部門・分野に対する対策・施策一覧

対策・施策追加

部門・分野:
実行計画名:
実行計画の計画期間:

対策分類 | 施策項目

低炭素社会実行計画の着実な実施と評価・検証 | 低炭素社会実現に向けた取り組み
省エネルギー性能の高い設備・機器の導入促進 (ビル・製造技術の導入)

対策・施策追加

対策分類 **必須**: 施策分類を選択
選択可能な施策項目についてはこちらを参照

施策項目 **必須**: 先に「施策分類」を選択してください。

施策 **必須**: 施策を入力

施策時期 **必須**: 2023 年度 ~ 任意で設定 年度
施策時期は、実行計画の計画期間内で入力してください。
実行計画の計画期間: 2023年02月～2023年03月

指標 **任意**: 指標を入力

目標 **任意**: 目標を入力 目標の単位 **任意**: 目標の単位を入力

具体的な内容 **任意**: 具体的な内容を入力

初期費用 **任意**: 円
運用費用 **任意**: 円
補助金 **任意**: 円

キャンセル 登録

対策・施策ごとに、実施時期・具体的な内容・費用等の情報を設定できます。



4. 排出量・活動量データ管理・集計機能

事務局

- ◆ 排出量・活動量データの算定・集計における課題



排出量・活動量データの管理や精査に手間がかかる

部門・分野別に推計した、年度の温室効果ガス排出量を、ガス種別毎に**登録・管理が可能**です。また、推計に用いた活動量の実績値も併せて管理することができます。登録された情報は**帳票として出力**することもできます。

ガス種	部門・分野	合計	推計手法	活動量1	
				前年度値	新規登録
CO ₂	産業部門	500	t-CO ₂	都道府県別按分	-
	製造業		t-CO ₂	推計手法を選択	-
	建設業・鉱業		t-CO ₂	推計手法を選択	-
N ₂ O	農林水産業		t-CO ₂	推計手法を選択	-
	業務その他部門	100	t-CO ₂	都道府県別按分	-
	家庭部門	100	t-CO ₂	都道府県別按分	-
HFCs, PFCs, SF ₆ , NF ₃	エネルギー起原CO ₂	200	t-CO ₂	全国按分法【標準】	-
	自動車（貨物）		t-CO ₂	推計手法を選択	-

推計手法についても選択可能

LAPSS

地方公共団体実行計画策定・管理等システム (LAPSS) 操作説明

※本日の操作勉強会では**LAPSSの実際の画面を投影しながら、操作をご説明**いたします。

※本日ご紹介した操作概要については、以下URL掲載の資料にも記載しております。あわせてご確認ください。

<https://www.lapss.env.go.jp/lapss/help/help.html>

事務事業編（事務局）： ユーザーズガイド（事務局編）Ver2.4

事務事業編（施設管理部局）： ユーザーズガイド（施設管理部局編）Ver3.3

区域施策編： ユーザーズガイド（区域施策編）Ver1.2

LAPSSの機能一覧（事務事業編）※2024年8月時点



：今回重点的にご説明する機能

マスタデータの一括登録機能

- ✓ 部局/課室/施設情報や施設の過去活動量データを専用Excelツール(VBA)を使用して一括登録

実行計画策定支援機能

- ✓ 策定に資する情報をフォーマットに沿って入力
- ✓ 登録された情報は帳票として出力して活用も可能

脱炭素に資する措置の設定機能

- ✓ 脱炭素に資する措置を、施設・設備ごとに設定
→措置分類、削減目標、導入費用等を管理

活動量データ登録機能

- ✓ 施設・設備の活動項目について、施設管理者が毎月の活動量データ（実績値）を登録
※マスタデータ同様、実績値の一括登録も可能

他団体比較機能

- ✓ 他団体と削減量(原単位の対前年度比)を比較し、削減効果の高い団体の措置を参照可能

排出量・活動量算定・集計機能

- ✓ 排出量・活動量の推移・内訳について条件を組み合わせた集計が可能
- ✓ 施設・設備の排出量データを帳票として出力して活用も可能
- ✓ 省エネ法等の関連法制度の温室効果ガス総排出量の算定が可能
- ✓ 団体内の部局/課室/施設別の排出量および昨年度からの削減率を一覧表示し、比較することが可能

措置の自己評価・点検結果登録機能

- ✓ 各施設・設備の措置について、当年度の取組状況を点検し、自己評価を実施

入力依頼・督促メール配信機能

- ✓ 活動量データの入力依頼メールや督促メールを自動配信

掲示板閲覧・投稿機能

- ✓ 他団体の事務局との情報交換を目的とした団体間共通掲示板や、団体内の情報共有を目的とした団体内掲示板機能を利用可能



- ◆ LAPSSは、地方公共団体実行計画（事務事業編）における温室効果ガス総排出量の算定・管理の支援等を主な目的としていますが、令和5年度から区域施策編にも対応しました。

実行計画策定
支援機能

- ✓ 策定に資する情報をフォーマットに沿って入力
- ✓ 登録された情報は帳票として出力して活用

地域脱炭素化促進事
業に関する事項

- ✓ 促進事業の目標、促進区域の類型・ゾーニング情報、再エネ活用のため促進区域において整備する施設、地域の脱炭素化のための取組等の設定・管理

温室効果ガス削減に
向けた対策・施策の
設定支援機能

- ✓ 温室効果ガス削減に向けた対策・施策の設定のための参考情報を提供
- ✓ 設定した対策・施策の管理も可能

排出量・活動量データ
管理・集計機能

- ✓ 年度単位、部門・分野ごとの排出量データ（推計値）や吸収量を登録し管理
- ✓ 排出量の推移・内訳を自動集計しグラフ化

LAPSS

質疑・応答

問い合わせ窓口に多く寄せられる質問、前回までの操作勉強会で出た質問をとりまとめています。

● LAPSSへのログイン

Q : LAPSSにアクセスした際、「このサイトは安全ではありません」というセキュリティに関するエラーが表示される。

A : 暗号化通信に必要な証明書がパソコンのブラウザにインストールされていない場合、このようなエラーが表示されることがあります。システムへの通信は暗号化されている（https通信されており、あらかじめパソコンのブラウザに証明書をインストールしておく）必要があります。インストールする証明書および手順に関して、貴団体の情報システム部門にお問い合わせください。

Q : 新規に追加されたユーザーアカウントでLAPSSへ接続する際のID、PWは当初のものと一緒にになりますか？

A : アカウントごとに固有のID（メールアドレスを利用）、PWを発行いたします。なお、同一メールアドレスを複数アカウントに利用することはできませんので、ご注意ください。

Q : パスワードの設定、再設定を行ったが、入力したメールアドレスにメールが送られない。

A : サーバーの状態によって、メールの受信にお時間を要する場合があります。また、団体のセキュリティ設定によりメールが受信できない場合もありますので、メールの受信設定等をご確認ください。また、システムに登録したメールアドレスに誤りがある可能性もあるため、改めてシステムに登録したメールアドレスに誤りがないかご確認ください。

Q : ユーザーアカウント情報、施設・設備情報を変更したい。

A : （ユーザーアカウント情報）「マスタ設定」の「ユーザーを設定する」画面から、変更したいアカウントの「編集・削除」ボタンをクリックして下さい。必要に応じて内容を更新し、「更新」ボタンをクリックして下さい。

（施設・設備情報）「マスタ設定」の「施設・設備を設定する」画面から、変更したい施設・設備の「設定・削除」ボタンをクリックし、さらに「変更・削除」をクリックして下さい。必要に応じて内容を更新し、「更新」ボタンをクリックして下さい。

● 活動量の入力

Q：施設分類別の活動量入力項目を新規登録、削除したい。

A：トップページから「マスタ設定」>「既定の入力項目を設定する」より、施設分類別の活動量入力項目を新規登録、削除することができます。

Q：活動量入力項目を、施設ごとに設定することは可能か。

A：施設分類別にご設定（「マスタ設定」>「規定の入力項目を設定する」）いただいた後、施設の設定（「マスタ設定」>「施設・設備を設定する」）から、施設ごとに不要な入力項目を「未使用」としてご設定いただけます。

Q：電力会社のメニュー名が複数あるが、どの項目を選択すればよいのかわからない。

A：事務事業編における温室効果ガス排出量算定にのみ本システムを利用している場合、該当する電力会社のいずれのメニューを設定いただいても問題ありません。なお、電力会社のメニュー名については、貴団体にて電力会社との契約内容をご確認いただく必要があります。

Q：活動量データ（月次実績）の入力を行いたいが、画面に「該当データが存在しない」と表示される

A：活動量データを登録するためには事前に活動項目を施設分類毎に登録する必要があります。活動項目の登録は事務局権限のユーザでトップページから「マスタ設定」>「既定の入力項目を設定する」より登録できます。

● 活動量の入力（続）

Q：実績値を一括登録したいが、各施設のデータを1ファイルに集約しなくてはいけないか。

A：活動量データを登録する際には、必ずLAPSSの画面からダウンロードいただいたファイルをご利用いただく必要があるため、お手数をおかけし恐縮ですが、各施設からのファイルを1ファイルにご集約ください。

Q：かんたん算定シートや一括機能実装前の環境省指定のデータ取り込み様式でLAPSS上に実績値を一括登録することは可能か。

A：活動量データを一括登録する際には、必ずLAPSSの画面からダウンロードいただいたファイルをご利用いただく必要があるため、データを加工していただく必要がございます。

Q：入力したデータについて、入力ミスがないか確認したいが、データの出力方法はあるか。

A：入力したデータについては、csv形式での出力が可能でございます。また過去分の入力データについても、遡って修正を実施することが可能でございます。

● 集計結果の分析・出力

Q：集計結果のグラフや表をそのままコピーして報告書などに貼り付けることは可能か。

A：表の出力形式はcsv形式ですが、「団体内の排出量を集計する（月次／年度別）」ページで表示されるグラフや表の上で右クリックし、「名前をつけて画像を保存」を選択するとpng形式で保存することができます。

Q：施設を登録したが、その施設が廃止された場合の操作方法は。

A：「マスタ設定」>「施設・設備を設定する」から廃止したい施設をご選択いただき、画面右側の「設定・編集ボタン」>「変更」を選択すると開く「施設情報 変更・削除」ページの「制度対象期間」の廃止年度欄をご記入ください。

Q：年度途中で施設が移管され、施設情報から施設所管課室の情報を変更した場合、集計等に影響する可能性はあるか。

A：施設のマスタ設定で施設管理課室を変更すると、過去の排出量分も含めて移管先部署の排出として記録されます。過去排出分は移管前部署の排出として管理されたい場合には、該当施設をLAPSS上で廃止登録（「施設情報 変更・削除」ページの「制度対象期間」の廃止年度を追加）し、移管後の施設は移管先部署が所管する新施設としてご登録ください。

Q：他団体の情報を確認できるとのことだが、自団体で各施設ごとに公開範囲を定めることはできるか。

A：LAPSSは団体の取組のノウハウ共有のためにも活用していただきたいと考えているため、現状では公開範囲を制限する機能は設けておりません。

● その他

Q：団体内掲示板はファイル添付は可能か。可能な場合、添付可能な最大データサイズは。

A：可能です。ファイル数は5件まで、合計10MBまで添付いただくことが可能です。

Q：実際の利用開始が登録年度の翌年になっても問題ないか。

A：作業負荷軽減の観点からも登録後できるだけ早く利用を開始していただくことが望ましいですが、利用開始が遅れることで再登録申請や機能制限等の問題が発生することはございません。

Q：施設管理部局へ説明する際に利用できる資料はあるか。

A：環境省のウェブサイトにて、LAPSS操作勉強会の録画・資料を掲載しております。また、LAPSSログイン画面の「LAPSS上の操作でお困りの方はこちら」からユーザーズガイドを閲覧いただけます。LAPSS専用の問い合わせ窓口も設置しております。

マニュアル・支援ツール等の一覧

● マニュアル類

ユーザーズガイドで基本的な機能を確認し、より詳細を知りたい場合にはシステム操作手順書をご参照いただけますと幸いです。

→https://www.lapss.env.go.jp/lapss_test/help/help.html

- ユーザーズガイド：事務局・施設管理部局向けをそれぞれご用意しております。
- システム操作手順書：より詳細に操作や機能を確認したい際にご利用ください。

● 動画での操作説明

支援サイトでLAPSSの操作デモ動画を公開しております。

- 支援サイト（操作勉強会）：主要な機能の操作デモの録画を公開しております。

→https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/shien4.html

● 問い合わせ窓口

LAPSSの操作についてご不明な点がございましたら、お問い合わせ窓口をご利用ください。

- 【お問い合わせ窓口（ミツイワサポートサービスセンター）】
 - 電話番号：050-3354-6686
 - メールアドレス：lapss-helpdesk@mitsuiwa.co.jp

● 庁内等での説明資料

支援サイト上で、LAPSS説明会の資料を公開しております。

LAPSSの基本機能に加えて導入団体の声や成果についても紹介しておりますので、ぜひご活用ください。

→https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/shien4.html